

▶ 秋田県秋田市

## 高度な医療とサービスで 地域の健康を守る総合病院



地域に寄り添い、街とともに考える、  
コミュニケーション誌

### INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 地域のために がんばる公営競技
- 07 サステナビリティへの取組
- 09 JFM TOPICS
- 11 利用してみよう! 地方支援業務
- 15 みんな気になる、お金のこと
- 17 わたしのシゴト わたしのジモト
- 18 機構からのお知らせ
- 19 私たちもJFM債買っています!!
- 19 編集後記



JFMの貸付事業

JFMでは、長期かつ低利な資金を地方公共団体に融資することで、地方公共団体の財政の健全な運営及び住民福祉の増進に貢献しています。

詳細はp.03



市立秋田総合病院 概要 所在地:秋田県秋田市川元松丘町4-30 / 竣工:令和4年9月 / 延床面積:約31,321.2㎡ / 構造:鉄骨鉄筋コンクリート造 13階建

AKITA CITY HOSPITAL

# 市立 秋田総合病院

秋田県の中央部、日本海沿岸に位置する秋田市。  
内陸部に比べて降雪量は少ないですが、強風が吹く傾向にあり、  
風を利用した風力発電事業にも力を入れています。  
長年地域の医療の中心として親しまれてきた市立秋田総合病院。  
建て替えを経て最新機器を取り入れ、  
より質の高い医療を地域住民に提供しています。





**1**  
ブロック受付 \* 外来のフロアには、関連する診療科をまとめたブロック受付を設置することで、患者にとって便利でわかりやすい動線となっています。



**2**  
アイランド型ナースコーナー \* 職員が病室に近いところで医療看護活動ができるように、病棟の四隅のブロックにナースコーナーを設置しています。



**3**  
採光を取り入れた病室 \* 複数人入院できる病室でも、それぞれのベッドの近くに窓を設置し、明るく快適な入院生活を送れるように配慮しています。



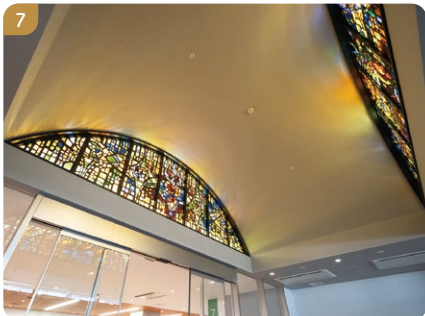
**4**  
緩和ケア病棟 \* 専用のデイルームにはキッチンやくつろげるスペースがあり、患者が家族と自宅に帰ったように過ごせる部屋になっています。



**5**  
リハビリテーション科 \* 約273㎡の広々としたリハビリテーション室で、各診療科の主治医と連携してリハビリテーションを提供しています。



**6**  
病児保育園あすなろ / 院内保育園こどもの国 \* 発熱などで通常の保育園に預けられない子供を受け入れる病児保育園と、職員が利用できる院内保育園があります。



**7**  
ステンドグラス \* 西入口にあるステンドグラスは、旧病院からそのまま移されています。昭和59年に旧病院が建設されたことを記念して制作されました。

## FLOOR GUIDE

中心となる医療棟は13階建て。1～2階は外来のフロア、3階はリハビリテーション科や化学療法室、4階は手術室、5階はカンファレンスなどを行うための講堂、6～12階は1フロア60床以内の入院病棟となっています。どのフロアも患者と職員の動線に配慮した設計を採用しています。



## 利便性を追求した病院設備

昭和2年に市立秋田診療所を前身として診療を開始した市立秋田総合病院。市民に高度で専門的な医療を提供しつつ、結核、精神、救急、感染症等の公的医療機関として担うべき医療にも積極的に取り組んできました。

令和4年10月に開院した新病院は、患者と病院で働く職員どちらにも便利な施設を目指して設計されました。1階の入口近くには、「患者サポートセンター」を設置し、入退院の説明や医療福祉相談などにワンストップで対応できるようになっています。外来には、関連する診療科をまとめたブロック受付を設置することで、患者の利便性向上と混雑緩和を図りました。入院病床は1室あたりの病床数を少なくし、それぞれのベッドのそばに窓を設けることで、快適な入院生活が送れるようになっています。入院病棟には、四隅にアイランド型のナースコーナーを設置し、より病室に近い場所で医療看護活動ができるようになりました。

新病院が開院したことで、高度な医療の提供に加え、施設面でも満足いただける総合病院へと進化しています。

### 病院祭



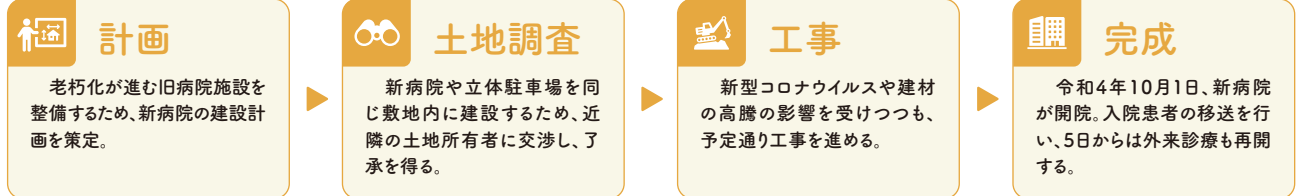
音楽や食事を楽しみながら、血圧や骨密度を測ったり、病院職員に健康相談をしたり、最新医療機器に触れたりできるイベントです。今年10月に開催予定となっています。(写真は旧病院で行われたものです。)

# 高度な医療とサービスで地域の健康を守る総合病院

建て替えを経て、令和4年10月に開院した市立秋田総合病院。病院の運営を行う地方独立行政法人市立秋田総合病院 事務局長の本間 斗さんに、病院のコンセプトや今後の展望などを伺いました。



## ▶ 市立秋田総合病院ができるまで



地方独立行政法人 市立秋田総合病院  
本間 斗 事務局長

## ≡ 低金利で長期間借入できるJFMの融資を活用

令和4年10月に開院した、新・市立秋田総合病院。旧病院は、施設の老朽化に加え、最新の医療機器の設置スペースの確保が難しくなったため、敷地内に新病院を建設し、旧病院の機能の移転を行いました。

建設にあたっては、コンサルタント会社に委託し、専門的な立場から意見をもらうとともに、病院で働く職員からも意見を吸い上げ、よりスムーズに医療を提供できる設備計画を練り上げていきました。また、旧病院時代は待ち時間の長さが問題となっていました。外来の患者様に予約制を導入したことにより待ち時間を短縮することができました。

建設資金には低金利かつ長期間の借入が可能なJFMの融資を活用しました。同じ秋田市内の文化施設「あきた芸術劇場ミルハス」も、JFMの融資を利用して建設しています。

## ≡ 病院を身近に感じられるイベントを計画

この数年間、新型コロナウイルスの影響で、イベントや院内教室、健康講座などの開催が難しくなりましたが、新病院が開院してからは、患者様やそのご家族、地域の方などにに向けた院内教室と健康講座を徐々に再開しています。参加者の方からは、「健康に関する不安を解消することができた」と好評をいただいています。今年10月には病院の敷地内で行う「病院祭」も開催する予定です。

今後も、高度な医療を提供し続けて市民の信頼を獲得することはもちろん、このようなイベント等を通じて、病院を身近に感じてもらうための活動にも力を注いでいきたいと思います。

## STAFF VOICE



地方独立行政法人  
市立秋田総合病院 事務局  
清水 幸代 総務課長

市から病院に派遣されており、病院と市との橋渡し役を担っています。施設の充実した新病院にはコンシェルジュも導入しており、患者様からは「ホテルのようだ」「明るくて過ごしやすい」というお声をいただいています。

これからも患者様や職員の声に耳を傾け、快適な施設を提供しつつ、サービス面でも満足していただける病院を目指します。

## 本件で活用いただいた制度

### 病院事業

地方公共団体が設置する医療施設などの建設改良費等を対象とした事業です。一般医療はもちろん、民間医療機関が提供することが困難な離島、山間地等のへき地医療、急速な体系的整備が必要とされる救急医療、高度医療及び結核、精神医療等の特殊医療の確保に重要な役割を果たしています。

融資活用事例一覧はこちら



### JFMスタッフ Message

市立秋田総合病院新病院建設にあたり、ご活用いただいた病院事業につきましては、令和4年度は、JFMから全国の地方公共団体に対し、総額1,021億円の貸付けを行いました。JFMでは、電子申請・通知システムによる借入申込事務のオンライン化により、効率化に取り組んでいます。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各都道府県担当までご相談ください。よろしくお願いいたします。



融資部融資課 秋田県担当  
村林 賢弥

# 秋田県秋田市の まちづくり



[人口]

300,502人

(2023年8月現在)



[世帯数]

139,045世帯



[面積]

906.07 km<sup>2</sup>



秋田市ホームページ



大森山動物園  
イメージキャラクター  
「オモリン」

## 人口減少対策を軸とした 魅力あふれるまちづくりを行っています。

秋田市では、「ともに作り ともに生きる 人・まち・くらし ～元気と豊かさを次世代に人口減少を乗り越えて～」を基本理念とし、市政の最重要課題に人口減少対策を位置づけています。魅力あふれる秋田市を継承していくことを目標に、

- ①先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり
- ②芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上
- ③未来につなぐ環境立市あきたの推進
- ④子どもを生み育てやすい社会づくり
- ⑤いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり

の5つを創生戦略とし、「このまちに住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組んでいます。

## ▶ 行政 Pick Up! 注目の行政事業を紹介します。

### ◎再生可能エネルギー関連産業の活性化

秋田市内では、本年1月に秋田港洋上風力発電所が国内初となる商業運転を開始したほか、秋田県沖で先進的に洋上風力発電事業が展開されています。

こうした状況を好機ととらえ、秋田市では、関連産業の誘致や市内企業の参入、人材育成など、新エネルギー関連産業の活性化に向けた民間事業者の取組を支援することで、経済と環境の好循環を生み出すことを目指しています。



秋田港洋上風力発電所

### ◎文化施設の整備など秋田駅周辺の活性化

秋田駅周辺の中心市街地をより活気づけるために、千秋公園周辺を「芸術文化ゾーン」と位置づけ、県市連携で管理運営する「あきた芸術劇場ミルハス」や文化創造拠点「秋田市文化創造館」を整備するなど、市民が日常的に芸術文化に触れ、暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを進めています。



あきた芸術劇場ミルハス

## ▶ 進めています! 業務効率化

**AI文字起こしソフトでの議事録作成** 今年度から、AIが自動で文字起こしを行う議事録作成機器「ログミーツ」を導入しました。秋田市では年間約550時間、議事録等の作成が必要な会議を行っており、議事録作成に約1,600時間を要していました。現在作業時間の短縮効果を検証しているところですが、3～5割は短縮できる見込みです。既に運用している他のシステムと合わせて、事務の効率化促進を継続していきます。

**動画作成ソフトの導入** パワーポイントのファイルだけで動画が完成する「PIP-Maker」というソフトを導入しています。情報発信の手法として、手軽に見られる動画の重要性が増していますが、動画作成にかかる事務負担がハードルとなっていました。このソフトを利用することで、原稿の読み上げやスライドの展開などを自動で行うことができます。市民向けの動画に加え、職員に向けた研修動画の作成なども行っていきます。



秋田市の皆さん



太陽光パネルなどを取り入れ、環境に配慮した市庁舎。8月には竿燈まつりが行われました。

